

日本民芸協会
長崎県支部理事
理学博士
岡田喜一著

薩摩烏賊餌木考

推薦

雨宮育作
日本学士院会員
東京大学名誉教授

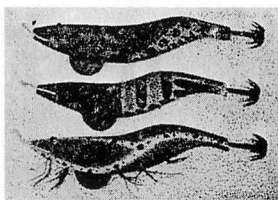
浜田庄司
前日本民芸協会会長

金丸三郎
前鹿児島県知事
現参議院議員

鹿児島県下では古来アオリイカを釣るのにクサギやクスなどの材を魚型や蝦型に擬して削り、これを焼き焦がして尾部に真鍮の鉤をつけた薩摩の餌木(擬餌鉤)は300余年に亘り独特の発達をなし、芸術価値の高い作品が見られ、世界の何処にも比類を見ない日本民族の特殊漁具というべきものであって、著者が永年の苦心により蒐集された餌木の数は2000点以上に及び、その詳しいことは写真や画と共に本書に記述されている。本書は日本民族文化史上に高く評価されるもので、書架に備えられ、文献の参考資料に、民芸、工芸の研究に、かつまた趣味と観賞を充分愉しまれることができます。

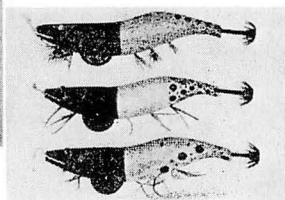
本書の体裁

- A4判(210mm×297mm)/総頁230
- 本文総アート紙/使用活字5号/横組
- 挿入写真絵図46枚/一頁大挿絵図11枚
- 原色口絵一頁大6枚/墨刷一頁大61枚
- 角背/紬織紺染布表装/背文字金箔押
- 堅牢極上製/ケース入/愛蔵本



宇之助の作品例

徳之丞の作品例



定価16,000円 [日本藻類学会会員で直接購入申込に限り特価12,800円(送料共)頒売]

日本海藻誌

岡村金太郎著 ¥20,000

藻類学総説

廣瀬弘幸著 ¥7,000

発芽生理学

中山 包著 ¥2,500

花色の生理・生化学

安田 斉著 ¥2,800

世界の珍草奇木

川崎 勉著 ¥1,300

生物学史展望

井上清恒著 ¥4,800

新風生物学

楠 正貫著 ¥1,800

大気と水の公害概論

大山 正著 ¥1,500

日本産淡水藻の総べてを網羅した好評の図鑑

日本淡水藻図鑑

秋山 優・今堀宏三・庵谷 晃 B5判・950頁
加崎英男・熊野 茂・小林 弘 カラー口絵8枚
高橋永治・津村孝平・平野 實 背革堅牢・極上製
廣瀬弘幸・山岸高旺 ¥36,000
共 著

本書の内容と特徴

- 日本産の淡水藻で確実に同定されているもの約3,800種(このうち珪藻約1,500種は続刊)を取める。
- それらの中には浮遊性の微細藻すなわち植物プランクトン約2,000種を含む、プランクトン図鑑ともいえる内容。
- 図を左頁それらの記載を右頁に一見して対照ができる。各種藻類群ごと目、科、属、種の分類学的特徴、形質さらに検索表を付す。産地、分布、生殖法、利用法、藻類学者の小伝など記載事項豊富。
- 文献は明治初期以来の分類学的研究を中心に網羅した「日本淡水藻研究略史」と藻類に初めて携わる方々のために「採集と研究法」が記載されている。
- 巻末の学名、和名、術語の詳細な索引は事典の如し。
- 利用者に最も重宝で好評である。

書肆

内田老鶴圃新社

東京都千代田区九段北1-2-1
☎(265)3636・振替東京3-6371

湖の生態

—人為的富栄養化をめぐる—

J. ヴァレンタイン著・原俊昭訳 四六・1600円
湖は人間活動の結果を如実に物語るといわれる。近年の、洗剤等の家庭排水・工場廃水による湖の人為的富栄養化現象は、生物の生存も許さぬ程の汚染・荒廃を招いてしまった。本書は五大湖周辺を題材に、湖とその周辺で起っている驚くべき変化を陸水学・淡水生物学の分野から非専門家向けに平易に解説する。“死”に瀕しつつある湖の生態を通して現代生活の問題を浮彫にし、デモフォリックな（人口×科学的）発達のコントロールの必要性を説く。

海の生物群集と生産

西沢敏・石田力一・川崎健訳 A5・4800円
本書は、海洋に棲息する生物群それぞれの群集構造と機能とを論じた海洋生態学モノグラフィ―。「個体群から群集へ」(畑中正吉)、「海洋低次生産試論」(西沢敏)、「海洋の深海系における動物プランクトン、マイクロネクトンの食性」(根本敏久)、「漁業資源研究と群集理論」(川崎健)、「水棲生物群集のモデル」(田中昌一)等の8篇からなり、海洋の保全と、人類の有効な生産の場として開発・利用する方策を探る。

浅海完全養殖

今井 丈夫監修 B5・4800円
種苗の確保、中間育成、成体生産さらに再生産の全生産体系を人工的に管理する、この新しい“完全養殖”の理念に立脚した今井博士らの研究グループの3ヵ年におたる研究を集成。浅海主要種、ノリ・カキ・ホタテ・アワビ・クルマエビの生物学的基礎研究と、餌料培養、栄養、環境制御等の管理技術を総括する。特に養殖生産の出発の基点となる、種苗生産については、天然採苗・人工採苗の項目を設け詳述する。

水産学シリーズ

- ①水圏の富栄養化と水産増養殖
 - ②のりの病気
 - ③食品の水水分活性と水の挙動
 - ④魚の品質
 - ⑤対馬暖流海洋構造と漁業
 - ⑥魚類の成熟と産卵その基礎と応用
 - ⑦魚類とアニサキス
 - ⑧稚魚の摂餌と発育
 - ⑨魚類種族の生化学的判別
 - ⑩海洋の生態系と微生物
 - ⑪南方カツオ漁業その資源と技術
 - ⑫種苗の放流効果アワビ・クルマエビ
 - ⑬白身の魚と赤身の魚肉の特性
 - ⑭水産資源の有効利用資源管理から利用加工まで
 - ⑮水産動物のホルモン
 - ⑯石油汚染と水産生物
 - ⑰海の生態学と測定
 - ⑱海洋生物のPCB汚染
 - ⑲イワシ・アサギ・まき網漁業
 - ⑳魚肉タンパク質
 - ㉑浅海養殖と自家汚染
 - ㉒養魚と飼料脂質
 - ㉓増殖技術の基礎と理論
 - ㉔魚の呼吸と循環
 - ㉕水産動物のカロテノイド
- ①1000円、②④⑤⑮⑳1400円、③⑩⑬⑭⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓1200円、⑥⑧⑨⑪1100円、⑦⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔1300円

東京都新宿区三栄町8・振替(東京)0-59600番

恒星社厚生閣

欧和一美術一印刷

GRAPHIC
PRINTING
STUDIO

合名会社 **文栄堂印刷所**

札幌市中央区北3条東7丁目 T231-5560 231-5561 231-2711

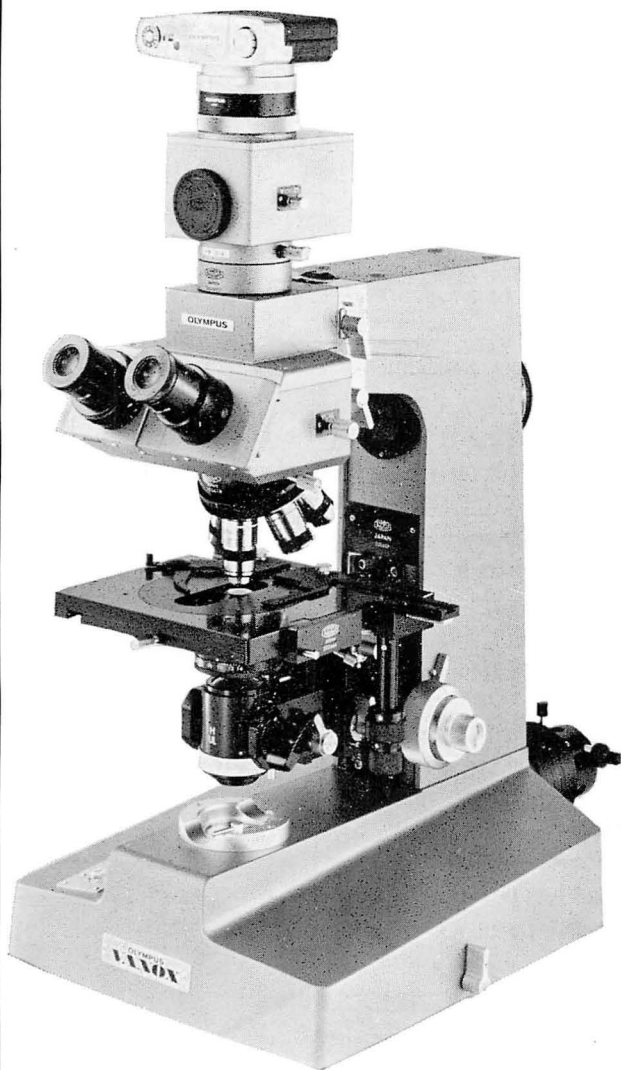
贅沢な設計

オリンパス万能生物顕微鏡に 新光学系を採用。

VANOX AHB-LB

顕微鏡本来の性能「より鮮明、より高解像」に重点をおいたコンペン型の長頸(LB)対物レンズの開発によりVANOXの性能が一段と向上しました。

- 対物レンズの開口数を大きくして、解像力の向上を計りました。
- 観察視野も普通視野で視野数20(WHK10Xのとき)と、従来にくらべて面積比で123%広くなりました。
- 像の平坦性、コントラストの向上につとめ、超広視野の周辺まで鮮明な像がえられます。
- 作動距離も改善して可能な限り長くとりましたので、マーキングなどの操作も容易になりました。
- 写真撮影レンズNFKシリーズは、特に平坦性をよくして画面のすみずみまで、鮮鋭な写真像がえられるように改良された実像設計です。
- 極低倍対物レンズ(2×、1×対物レンズ)が、他の対物レンズと同焦点で利用できます。



カメラ・顕微鏡・医療器等の光学総合メーカー

オリンパス光学工業株式会社

OLYMPUS

オリンパス販売株式会社

カタログ・パンフレット等のご請求は ☎101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル) ☎03(251)9311(代)

新 入 会

住 所 変 更

学会出版物

下記の出版物をご希望の方に頒布致しますので、学会事務局までお申し込み下さい。

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員は各号 750 円、非会員には各号 1,500 円。欠号：1 巻 1 号、6 巻 2 号、7 巻 1-3 号、8 巻 1-3 号、9 巻 1-3 号。
2. 「藻類」索引 1-10 巻、価格、会員 1,000 円、非会員 1,500 円。11-20 巻、会員 1,500 円、非会員 2,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補, 1977. A 5 版, xxviii+418 頁。山田先生の遺影・経歴・業績一覽・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編 (英文 26, 和文 24) を掲載。価格 5,500 円 (含送料)。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. ABBOTT・黒木宗尚共編, 1972. B 5 版, xiv+280 頁, 6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で開催された北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 編の研究報告 (英文) を掲載。価格 3,000 円 (含送料)。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977. B 5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月、札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 700 円 (含送料)。

Publications of the Society

Inquiries concerning copies of the following publications should be sent to the Japanese Society of Phycology, c/o Department of Botany, Faculty of Science, Hokkaido University, Sapporo, 060 Japan.

1. **Back numbers of the Japanese Journal of Phycology** (Vols. 1-25, Bulletin of Japanese Society of Phycology). Price, 1,000 Yen per issue for members, or 2,000 Yen per issue for non member. Lack: Vol. 1, No. 1; Vol. 6, No. 2; Vol. 7, Nos. 1-3; Vol. 8, Nos. 1-3; Vol. 9, Nos. 1-3.
2. **Index of the Bulletin of Japanese Society of Phycology.** Vol. 1 (1953)-Vol. 10 (1962), Price 1,500 Yen for member, 2,000 Yen for non member, Vol. 11 (1963)-Vol. 20 (1972). Price 2,000 Yen for member, 2,500 Yen for non member.
3. **A Memorial Issue Honouring the late Professor Yukio YAMADA** (Supplement to Volume 25, the Bulletin of Japanese Society of Phycology). 1977, xxviii+418 pages. This issue includes 50 articles (26 in English, 24 in Japanese with English summary) on phycology, with photographs and list of publications of the late Professor Yukio YAMADA. Price, 6,000 Yen. (incl. postage, surface mail)
4. **Contributions to the Systematics of the Benthic Marine Algae of the North Pacific.** Edited by I. A. ABBOTT and M. KUROI. 1972, xiv+280 pages, 6 plates. Twenty papers followed by discussions are included, which were presented in the U.S.-Japan Seminar on the North Pacific benthic marine algae, held in Sapporo, Japan, August 13-16, 1971. Price 4,000 Yen. (incl. postage, surface mail)
5. **Recent Studies on the Cultivation of *Laminaria* in Hokkaido** (in Japanese). 1977, 65 pages. Four papers followed by discussions are included, which were presented in a symposium on *Laminaria*, sponsored by the Society, held in Sapporo, September 1974. Price 700 Yen. (incl. postage, surface mail)

昭和 54 年 3 月 10 日 印刷
昭和 54 年 3 月 15 日 発行

編集兼発行者

吉 田 忠 生

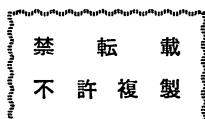
〒 060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目
北海道大学理学部植物学教室内

© 1979 Japanese Society of Phycology

印刷所

文 栄 堂 印 刷 所

札幌市中央区北 3 条東 7 丁目 342



発行所

日 本 藻 類 学 会

〒 060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目
北海道大学理学部植物学教室内
振 替 小 樽 1 6 1 4 2

Printed by BUNYEIDO PRINTING CO.

藻類

目次

墨田勉彰・渡辺仁治： ジャカルタ・スラバヤ・シンガポールにおける陸水の附着珪藻……………(英文)	1
奥田一雄・榎本幸人・館脇正和： ニセハネモ属 (<i>Pseudobryopsis</i>) の一種の生活史の研究 ……(英文)	7
籾 熙： クシベニヒバとコバノクシベニヒバについての細胞学的研究……………(英文)	17
李 仁圭・V. F. マキエンコ・黒木宗尚： <i>Halosaccion glandiforme</i> (GMELIN) RUPRECHT の体構造と生殖器官の発達について ……………(英文)	25
後藤敏一： 淀川汽水産 <i>Achnanthes</i> 属の数種に就いて……………	31
三上日出夫： チリー産 <i>Erythroglossum bipinnatifidum</i> (紅藻, コノハノリ科) の正体 ……………	35
神田房行： シラルトロ湖のマリモ ……………	39
川嶋昭二： <i>Stschapovia</i> 網走に産す ……………	34
会 告……………	45
日本藻類学会第3回春期大会講演要旨 (1979・4・1 東京水産大学) ……………	48